

□課題タイトル

市街地に建つ建築教育普及センター

コンセプト：できる・みれる・ふれる耐震実験（静的加力試験・振動実験）施設

□設計趣旨

住民・学生及び業界人が、耐震実験見学を通して建築を学び興味と理解を深めてもらうよう見学ラウンジや見学テラスを配置した。また、企業及び学生が試験体作成イベントを開催し易いように、耐震実験展示ホールと一体化したイベントプラザを設ける計画とした。さらに、試験後の破壊状態を保管する展示室をホールを囲むように設けることで、展示機能を持たせることができ、耐震知識の理解を深めることができるよう配慮した。（計 197 字）

□今回のコンペについて模範解答例提出までの感想

まず、建築普及センターという機能を持った施設があるかをリサーチしました。これで意外に時間を費やしました。

当初、近年の耐震偽造の件からこのような施設が住民に公開できることできればなーという思いはありました。

また変わった展示物を常日頃思っておりまして、このプランはその結果です。

試験後の試験体（ぶっこわしたもの）を展示するインパクトはかなりあり、さらに、更なるインパクトをつけるために、自然と視線に入るよう見下ろしさせました。

そのために高低差をつけました。トラップとして高低差をつけたかったわけじゃないので、4mと簡単にしています。

よって「見学ギャラリーからS造及びRC造展示室が見えるようにする」ということが第一のキャスかなと思っています。

展示室群を立体ゾーニングすることで、利用者が廻覧できるようにも計画しました。

利用者は 地域住民・建築業界を目指す学生達・建築業界で活躍する企業 を想定しています。よって多目的ホールで企業のレセプションパーティが行われたり、著名人が講演したり、学生の発表会が行われたりすることも考えています。

かなり楽しかったです。このような機会を与えてくださってありがとうございます。